

「笹川杯作文コンクール 2009」～日本語で応募～ 三等賞作品

※日本語の原文を尊重し、一切手を加えておりません。

今の私と昔の私

深圳職業技術学院 黄毅爾



それは今年の夏、私が日本にいた時の話である。ある日、学校のスケジュールが予定より早めに終わって、友達と3人で大阪の梅田のある電気ショップへ行って、買い物をした。帰る時はちょうどラッシュアワーなので、駅はとても混んでいて、チケットの自動販売機の前に人がたくさん並んでいた。「オイ、何だよ、速く」って誰かが文句を言っているのを聞いていたら、自動販売機の前に、おじいさんが立っているのが私の目に入った。そのおじいさんは手が不自由なので、チケットを買うのが難しそうだった。でも、おじいさんの後ろで待っていた男の人はイライラして、理解してあげなかったばかりか、悪口まで言ってしまった。そして、他の列に行ってしまった。そのおじいさんは申し訳なさそうな顔で、その人に「ごめんなさい」って何度も謝っていた。

私はそれを見て、思わずそのおじいさんの後ろに並び始めた。その時、私は急に自分が大好きな『バラのない花屋』というドラマのあるシーンを思い出した。それもちょうどラッシュアワーの駅で、お父さんと娘さんがチケットを買っているというシーンである。お父さんが娘さんがあるチケットを買っているおばあさんの後ろに連れて行って、そのおばあさんに「大丈夫ですよ」って言って、そのまま待っていた。娘さんが「父ちゃん、どうして混んだ時は、お年寄りの後ろに並ぶの」って聞くと、お父さんは「誰かに急がされたら、かわいそうでしょう？」って簡単な理由を娘さんに説明した。それ以来、娘さんは混んでいる時に、お年寄りがいるなら、絶対にその老人の後ろに並んで待つようになった。このシーンも、そのお父さんが話した事も、私の心に深く刻み込まれていた。その時、「私は確かに変わったんだ」って気づいた。10分ぐらい過ぎて、そのおじいさんがやっとチケットを買って、満足したみたいに、私に「ありがとうね」って笑顔で言ってくれた。その時の私はなんとも幸せな感じが全身に流れていた。

私は日本語専門の学生なので、毎日日本語の授業を受ける。毎日使っているスキンケア用品も化粧品も日本製である。私は日本の文化やエンターテイメントが大好きなので、よく日本の番組やドラマを見ている。気がついたら、私の身の回りには、日本の物が満ちている。それを通じて「いくら近くても、人間の習慣や言動などはやはり国によって違う」と知っていた。私の習慣や言動などもそのおかげで、変わっていた。それに気づいた時自分でもビックリした。

以前の私は気が短く、けっしていい性格であるとは言えなかった。中学校の時に、私はいつも些細なことが原因で、当時の担任の先生とケンカしてしまった。そんな私だったから、行動が遅いおじいさんの後ろに並んで10分ぐらい待っていたなんて、友達をビックリさせたが、自分でも不思議だなあと思っている。でも、それが確実に今の私である。その時の私は、知らないうちに、新しい私に出会ったようである。

日本のドラマが好きになってから、私の日常行為や言動などは、だんだん少しずつ変わっている。あまり大きな変化じゃないけれど、人はそう簡単には180度変えられないから、悪いところは少しずつ変えられれば、いいと思っている。

中国には「自分のためだけに図る人には、天地の罰が当たる」ということわざがある。人間は自分勝手だとよく分かっているけれど、社会にとって、人間はたった一人でも重要なことである。もしみんなが誰でも、自分の事しか考えないで、他人のことに完全に無関心するならば、この社会はどうなるでしょうか。

日本へ研修に行ったことがある私は、日本人がとても親切だと思っている。知らない人に、道を聞かれたなら、行き先が同じ道じゃなくても、絶対にその相手が行きたい場所に連れて行く。それに比べたら、中国人のほうが冷たいなあと思っている。

その一方で、私は「情けは人のためならず」という言葉が大好きだ。私たちは他人のことをもっと理解すべきだと思う。人生にはものごとが順調に進まないことがあるものだ。人は誰でも困難にぶつかる時がある。自分で解決できる問題もあれば、そうでないものもあるはずだ。そんな時は、誰でも他人が手伝ってくれることを期待していると思う。互いに思いやり助け合うことも、交流の一つの姿であろう。

ずっと昔から、日中両国は一衣帯水の国であると言われている。両国ともアジア的、さらに世界的に重要な国である。両国の言葉や習慣も互いに深く影響しあっている。日中両国は近いからこそ、より交流がし易く、相手のいいところを見つけて、そして自分の悪いところが直せる。このようにすれば、中日関係だけでなく、みんなはもっといい方向に自分を変えることができ、幸せになれるかもしれないと私は思う。